

{ 昭和34年7月20日 }
第3種郵便物認可

広報

かわにし

昭和51年 4/10 No. 212

人口の動き
4月1日現在
男 5,135 (-13)
女 5,211 (-47)
計 10,346 (-60)
世帯数 2,351 (-6)
()内は前月比較

* 発行 川西町・町長 根津正三 編集 企画室広報係 定価1部5円 印刷 白南風社



手をあげて
たじかめてから.....

ただいま春の交通安全運動
の期間です。(6日~15日)
特に、幼児、学児、老人など
歩行者の事故防止を!!

4月の休日救急医

11日(日)	大島 医院	2-2957
18日	至誠堂 医院	2-3276
25日	十日町 病院	7-5566
29日	中条 病院	7-3018

山火事防止運動

五月一日から七日まで、
次のことにご注意ください。

※たき火の後始末は完全に。

※たばこの吸いがらは必ず消す。

※強風、乾燥時には、マッチ、ラ

イターの使用は努めてさける。

〔議会報告〕

新年度予算

いずれも原案どおりに

固定資産評価審査委に

高橋氏(室島)を決める

本会議、委員会と統一した予算審議も、十七日の成立で一応の区切りがつき、

五十年度の補正予算

精算的なものを中心

補正予算は、一般会計、国保事業勘定、農業共済、簡易水道及び水道事業の五件。

このうち一般会計は、七百五十八万八千円の追加で、総額は十六億七千七百四十六万円となりました。

内容は、年度末を控えての精算的なものを中心としており、例えば歳出では、〇老人医療費に百五十万円、〇二次構近代化事業補助に二百七十七万円、〇道路新設改良の県工事負担金に二百五十六万円、〇雪害対策費に四百三十万、〇教育センター建設工事に三千万円、といったところ。

保険料の限度額

十五万円に

任期満了による固定資産評価審査委員には、室島の高橋重英氏(五十九歳)を選任することに決まりました。任期は四月一日から三年間です。

不況でも 町づくりの手は休めずに

金が無いから欲しいものが買えない、仕事ができない、というのはどこのご家庭でも経験されていること、町の台所も、規模こそちがいますが、全く同様です。

- 健康と福祉の充実
●教育文化の向上
●道路整備と豪雪対策
●産業の振興
●生活環境の整備

米生産調整・名前をかえて 水田総合利用対策に

五年間続いた米の生産調整は、今年から水田総合利用対策と名前をかえて、引き続き転作などを奨励することになりました。新しい制度は、五十一年度から三か年間の予定で実施されるもので、食糧の自給力の向上と供給量の確保をめざしながら、特に不足

続き認められるほか、地目が田んぼの養魚池なども、通算して三か年間は、奨励金の対象となります(ただし、五十年度に奨励金を受けた水田に限る。) 奨励金は、全国平均で十アール当り通年施行が三万円、一般的転作は三万五千円から四万円の範囲となっています。



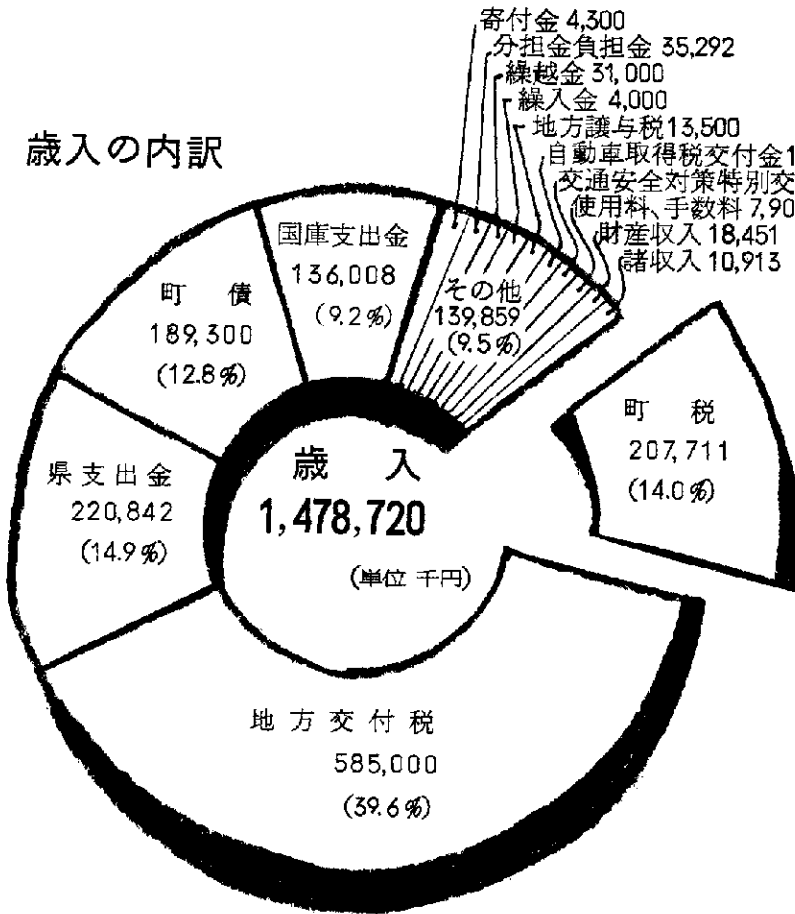
八日、仙田保育園が開所、これで町内全地区に常設保育所が完備しました。

グラフで
見る

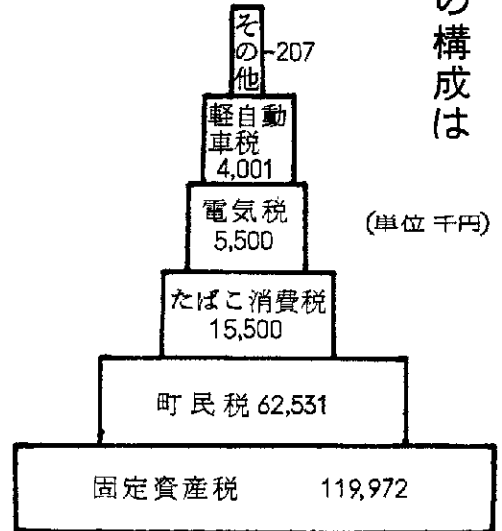
51年度予算

一般会計 歳入

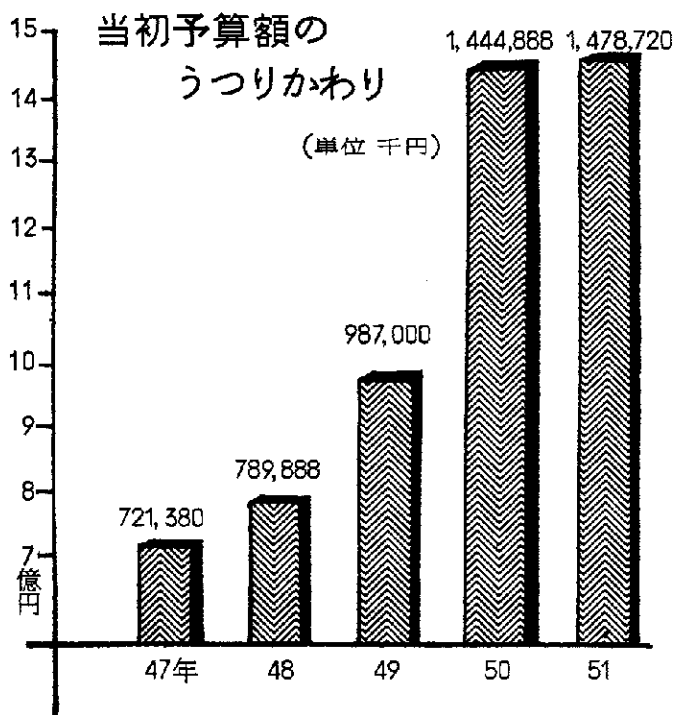
歳入の内訳



町税の構成は



町民1人当りの税額は



町民税



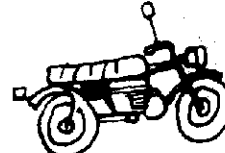
6,044円

たばこ消費税



1,498円

軽自動車税



386円

固定資産税



11,596円

電気税



531円

その他



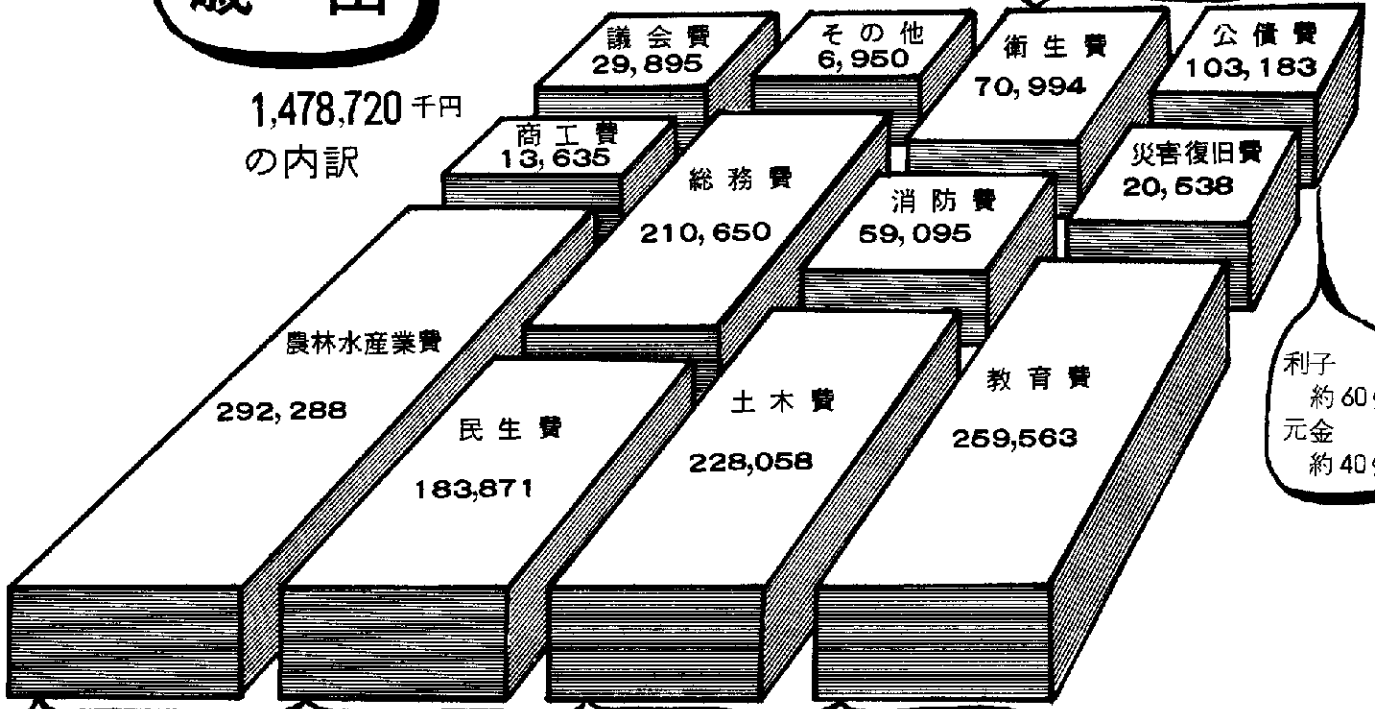
20円

合計 2万75円

一般会計 歳出

1,478,720千円
の内訳

環境衛生費 約45%
予防費 約13%
母子センター 約10%など



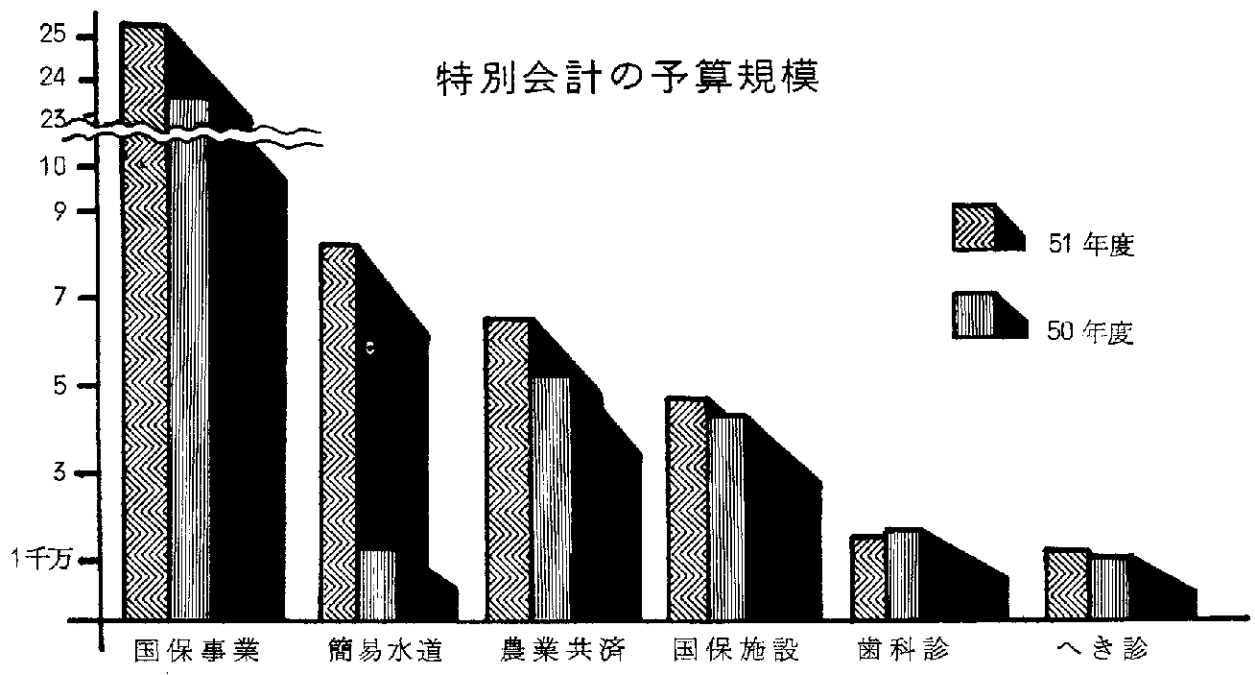
利子 約60%
元金 約40%

2次構 約50%
林業 約20%
その他農業振興
国土調査など。

児童福祉(保育所等)
約60%
老人福祉 約20%
その他年金事務など

道路新設改良
約73%
雪害対策 約13%
その他河川費など

小学校 約30%
中学校 約28%
社会教育 約18%
その他幼稚園
保健体育費など



社員・増強のお願い 社費 日赤川西町分区から

皆さんから寄せられるあたたかい善意により、日赤活動も年ごとに充実しています。

社員、社費増強運動期間(四月中)にあたり、昨年の実績や活動の一端をご報告いたしますと、
☆実績
一般社員 二、二八〇人
社費額 六八三、七〇〇円

☆活動
○入学児童交通安全帽の配布
○老人安全つえの配布
○急緊薬品の購入
○献血友の会の育成
などとなっています。

なお、県が目標としている三百



先月23日、児玉画伯の作品展には、811人が訪れ、美しい屏風に見入っていました。

今月22日には克雪センターで公開

仙田地区の方々、今月22日には克雪管理センターでも公開します。午前9時30分から午後4時までです。お楽しみに!!

町を緑でつつみましょう

緑の羽根募金運動中です

町を緑でつつみましょう。今月は、緑の羽根募金運動の月です。目標は二千三百本、金額にして約五万円。すでにご承知のように、町でも

林分改良事業や、町行造林の制度を中心に、町内の緑化に力を注いでいます。緑ゆたかな環境づくりのために、ごぞって参加いたしましょう。なお、昨年の募金運動の実績は七万三千八百円、このうち三万二千円くらいが町に還元され、川西中や幼稚園の植樹に役立てられています。

四月一日より改正

産業育成資金
四月から、産業育成資金の貸付が、次のように改正されました。

貸付額 一五〇万円以内
返済期間 二〇か月以内
貸付利率 年七パーセント

社費増強に一層のご協力をお願いいたします。

福祉年金

現況届けを忘れずに!!

五月六日は、福祉年金の支払日ですが、例年のように現況届け提出のため証書を回収します。当日、役場の係が次の場所に出張しますので、年金の支払いを受けたい方は、忘れずに証書を係に提出してください。なお、六日に都合のできない方は、直接役場まで持参してください。

るよう。

五月六日、午前九時～午後四時
千手地区 役場社会課

上野地区 上野郵便局
橋地区 橋郵便局
仙田地区 仙田郵便局

国民年金 保険料が千四百円に 前納は今月中に手続きを

一月にもお知らせしましたが、今月から国民年金の保険料が、月額千四百円になります。今年分は、一年分の保険料(五十二千四百円)です。この加入者を前納していただくのが今月です。

町文芸の会がスタート

その名は「ふきのとう」

春の訪れとともに、町に文芸の会がスタートしました。その名も雪どけにふさわしく「ふきのとう」です。春の訪れとともに、町に文芸の会がスタートしました。その名も雪どけにふさわしく「ふきのとう」です。



くみ取り料金の変更

し尿のくみ取り料金が、今月1日から次のように改正されました
10e 32円
※申込みは、木島の斉木政治さんへ。
(電話⑧-3155 有線2865)

町内さんぽ

「ふきのとう」早春の中に見つけたい。ふきのとうは、鮮やかな美しさとともに、力強い生命力を感じさせますが、芸の会がスタートしました。こんな忍耐強さと、自然美へのあこがれを、町の文芸発展に結びつけて命名したものの、いまのところ会員は二十歳から七十一歳までの男女八名、いささか心もとない人数とはいえながら、どうして、ふきのとうの一回はやる気分。きつと立派な会をつくりあげます。つくりなればならないときです。と発足にあたって会長に推された大海白濁さん(霧条)以下口をそろえてその意気をはかせています。 (写真・初会合で「ふきのとう」と命名、早くも意欲をわかせる会員)

小さな親切運動を!!

町内こそ

小さな親切とは、やろうと思えばたれにでもできること。
例えば、公園や神社など公共の場所の清掃車内での席の譲り合い、福祉施設の慰問など、こうしたことを、グループでやられたらさらにすばらしい親切となります。
いま、町の小さな親切運動は、大勢の仲間にはぐくまれながら、盛りあがりを見せています。ことしからは、町の婦人会の皆さんも参加してくださるようになります。
そして、もっともっと親切の輪を広げるため、引き続きいて皆さんにも呼びかけることになりました。
明るい町づくりのために、あなたの手もかしてください。
申込みは総合センターまで。

善意をありがとう

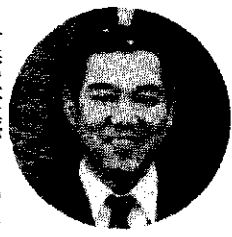
三件の香典返し

野口の滋野一郎さんから、亡くなられた父富治さんの香典返しとして五万円。
岩瀬の小川充さんから、亡くなられた父耕平さんの香典返しとして三万円。
坪山の中村茂一さんから、亡くなられた養母ミヨさんの香典返しとして三万円。いずれも社会福祉協議会にご寄付いただきました。

町の人事

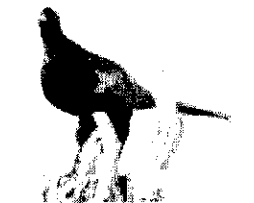
- ▼退職 / 三月三十一日付
 - 教委学校教育係・星名イシ 総務課庶務係・井上マス 建設課土木第二係・根津英子 十高川西分校・高橋英一
- ▼昇任 / 四月一日付
 - 南原保育園長心得・教藤敦子(千手保育園)
- ▼兼任 / 四月一日付
 - 教委社会教育係兼体育館長・星名四郎(教委社会体育係)
- ▼配置換え / 四月一日付
 - 建設課土木第二係・水落イヅ(教委庶務係) 同・平野修(土木第一係) 同第一係・高橋正司(産業課共済係) 産業課共済係・五

子供の写真が親しめる広報にも



○子供の写真が多いのはほほえましく、親しめる広報紙づくりと思う。
○広報は、行政と住民のパイプ役、かたい内容やお知らせ的なことが中心でもしかたない。全町民に、紙面の全てを喜んで

読者に聞く



山に民館、坪山に民館、かみ原の製紙会社、下はたの川、原キマ

戸籍の窓から

うさ声ーおすこやかに

田中 和明	三男	小白倉
田口 隆淳	長男	木落
田口 智淳	静雄	木落
田口 智淳	二男	木落
数藤 政実	政信	長男
柄澤 宏行	光雄	長男
中條 悦子	恒信	長女
鈴木 博	栄一	長男
野澤 和生	政義	長男
清水 恵子	文一	長女
古澤 克	英雄	長男
佐久間貴之	美紀造	長男
川崎 和也	孝一	長男
田口 宏之	忠政	長男

昇天ーごめい福を祈る

上村 哲也	上野	一一
田口 敏彦	木落	二四
押木 洋一	岩瀬	四〇
小川 耕平	岩瀬	六八
滋野 定男	野口	七〇
中條 玉治	岩瀬	七〇
渡實 ノイ	上野	七六
中條 武治	岩瀬	七七
中村 ミヨ	坪山	七八
丸山 ソル	高原田	七九
中川ヨキイ	仁田	八二
江口 慶作	小白倉	八六
清水 料	下平新田	八七

たかさこー円満に

- ◎新郎 渡邊 金平 上野
- ◎新婦 春川 梅子 十日町から
- ◎新郎 高橋 稔 三領
- ◎新婦 富井ミチ子 上野から
- ◎新郎 大平 勝政 原田
- ◎新婦 澤田 節子 青森から
- ◎新郎 保坂 勝安 大白倉
- ◎新婦 鈴木ちよ子 秋田から
- ◎新郎 平野 悟 四郎兼
- ◎新婦 小林ケイ子 十日町から
- ◎新郎 池竹 広 原田
- ◎新婦 福原八重子 小千谷から
- ◎新郎 茂野 正明 藤沢
- ◎新婦 根津 貞子 十日町から
- ◎新郎 目黒 一好 東善寺
- ◎新婦 蔵品ひろみ 霜条から
- ◎新郎 平野 市郎 上野
- ◎新婦 南雲はまの 中里から
- ◎新郎 星名 遼 上野
- ◎新婦 星名美江子 上野から

納税メモ

直接税(統)
例えば、所得税は所得再配分の機能が強く、応能要素が重視され、税率の累進度がきびしく設定されているのに対し、住民税は、住民がその自治体の費用を、能力に応じて分担するという、いわば住民会費的な性格が重視され、税率の累進度もそれほどきびしく設定されていません。
さらに、住民税は、前年の所得に対する課税が所得税と異なっています。(終)
納税メモは、今月で終ります。



かわにし俳壇

大田白南風 暈
小白倉 片桐玉章
バスの客皆熱しおり花の雨
種下し素足に土のあたたかき
新町 敏 子
仏前の水仙一つうしろ向き
中仙田 仙 蒼 子
新しき花買い求め灌仏会
元町 金子良子
好まれし走り蕪煮る母の感に
高倉 高橋一葉
別荘の子と春スキー笑い合う
広報俳壇開設以来休みなく投稿して来られた江口凡石さんが逝去された。絶句にゆく先を風にまかせて散る落葉」と短冊に誌されたと家族から聞き哀悼の意を捧げる。